
科学魔法の混在世界

カワチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

科学魔法の混在世界

【Nコード】

N2333Z

【作者名】

カワチ

【あらすじ】

魔法が科学技術になった世界。

黒沢竜也と松原恭太。

二人の少年が出会い、物語が始まっていく。

1話 少年との出会い

「はあ、俺は早く学校に行かないと遅刻するんだが」

「てめえから 喧嘩売つて何言ってるんだよ」

「いや あれはたまたま当たっただけだって言ってるだろ」

「嘘つくんじゃねえよ あれは絶対俺に向けて当てただろ」

そう言い合う一人の少年と一人の不良。一人の少年は中学生くらいの普通の少年だが、不良のほうは、リーゼントの髪型で金属バットを持っている、明らかに昔の不良の姿だった。

周りの見ていた人たちも、少年の方が危ないことは分かっているのだが、だれ一人も少年を助けようとはしない。

「てめえ ぶっ殺してやる」

不良が手に持っている金属バットで、少年を殴ろうとすると

「おい 止めてやれよ」

そう言いながら、緑のリストバンドをしている高校生の少年が不良のバットを手で抑えている。

「おいてめえ なに俺の邪魔してんだよ」

「バッドはボールを打つ道具だ 人を殴るために使うもんじゃねえだろ」

「てめえには関係ないだろ こうなったらてめえからぶっ殺してやる」

不良がバッドから手を放すしポケットからナイフを出し、高校生の少年の方に襲いかかろうとすると

「やっぱりお前魔法が使えないのか なら簡単に倒せそうだな」

高校生の少年がナイフに触れると、まるで皿を割ったように砕けて、高校生の少年はそのまま不良の顔面を殴って気絶させた。そして中学生の少年に駆け寄ると

「おい 大丈夫だったか」

「え、まあ」

「そうか じゃあ俺は行くな」
高校生の少年は、置いていたカバンを持って、走り去っていた。
中学生くらいの少年も高校生の少年と同じ方へと走り去った。

時間は過ぎホームルーム

「ふ〜 何とか間に合った」

息を切らしながら椅子に座っているさっきの高校生の少年。この少年の名前は松原恭太と言う。

「みなさんおはようございます」

教室の引き戸を開けながら、このクラスの担任、木下雀が入ってくる。

「みなさん 今日には転校生がやってきます」

その言葉を聞いた生徒たちがざわめきだす。

「みなさん静かに それでは転校生を紹介します さあ入って来てください」

木下先生が言つて、教室の引き戸から出てきたのは、さっき助けた中学生の少年。

「な なんてあいつが」

恭太の頭が混乱していると

「俺の名前は黒沢竜也です よろしく」

これが黒沢竜也と松原恭太の二回目の出会い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2333z/>

科学魔法の混在世界

2011年12月9日01時09分発行